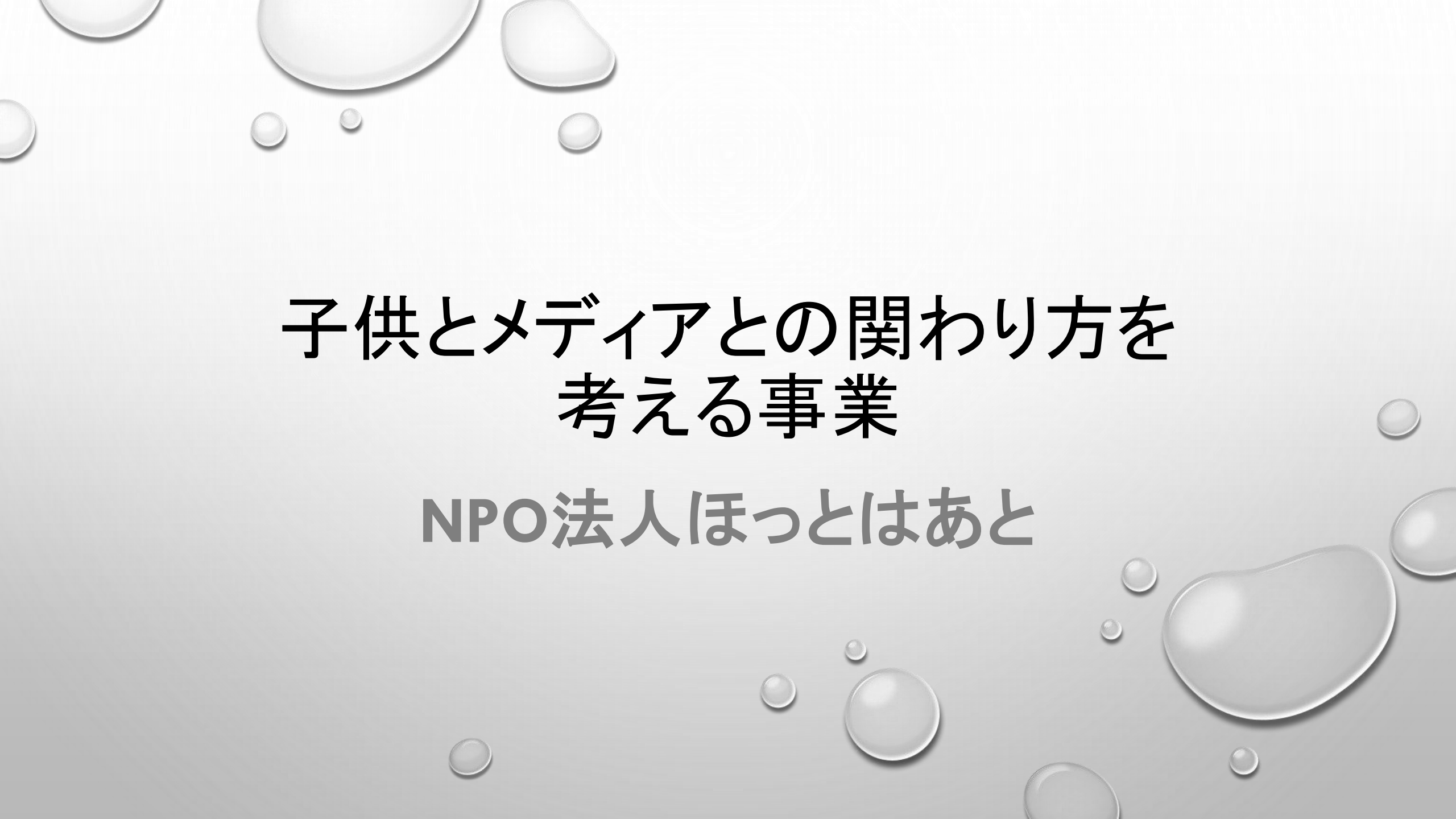


The background of the slide is a light gray gradient, decorated with numerous realistic water droplets of various sizes. Some droplets are large and prominent, while others are small and scattered. They are rendered with soft shadows and highlights, giving them a three-dimensional appearance.

子供とメディアとの関わり方を 考える事業

NPO法人ほっとはあと

事業概要

- 子どもとメディアのかかわりと遊びを通して子どもとの関わりを再認識し、メディアによって奪われているもの（愛情形成 親子の時間 子供の時間 育児能力）について考える機会と、遊びの重要性の再認識を促し、子供とメディアについての提言を作成する。

何が問題？ 何が大切？ ～子どもの生活と「メディア」～

子どもと「メディア」の関係が、小児科を診みとして、今！悩むトピックス
でもーどう付き合ったらいいの？スマホ育児ってどういうこと？何が危険なの？
「メディア」と上手に付き合っていく方法、一緒に考えてみませんか？

講師：筑紫女学園大学
原 陽一郎 准教授

内容：子どもの生活と「メディア」について
「メディア」が子どもに及ぼす影響についても
分かりやすくお話しさせていただきます！

参加費：無料

※資料の印刷の都合上、必ず
お申し込みをお願いいたします。



第1章 講演会

原先生のプロフィール

所属・職位 筑紫女学園大学人間科学部人間科学科
人間形成専攻・准教授

NPO 子どもとメディア専科理事

福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了
大学時代からこだわってきた「保育」の学びと、
保育所保育士・学童保育指導員・幼稚園の母親
通園施設（無認可）などでの実践経験を通じて、
保育士仲間を育てるのに貢献を続けています。

著 書

『抱っこしてもいいの？』

山田真生子・原陽一郎 エイデル出版所 2007

『子育て 絆を紡ぐ保育実践』

内田健夫・牧野英樹・小森菜保・太田麻志・

原陽一郎・石木和子 エイデル出版所 2011

子供とメディアに関する講座

子どもの生活と「メディア」～何が問題？何が大切？

～ メディアが子どもに及ぼす影響と、

上手な関わり方を学んでみませんか～

講師：筑紫女学園大学 原陽一郎 准教授

9月8日午前 保護者42人 午後 支援者 15人

9月9日午前 パパ、プレママパパ向け 44人 計101名

日時	対象	場所	問合せ・申込み先
9月8日(金) 10:00 ～ 11:45	・子育て親子に向けたメッセージ ・定員30名程度 ※お子さんと一緒に参加できます	山手ふれあいセンター (総社市地蔵山147)	山手保健センター内 ちびっこひろば TEL/FAX 0866-93-9834
9月8日(金) 13:30 ～ 15:30	・子育て支援の方に向けたの メッセージ ・定員30名程度 ・子育て支援者として大切なお話しです ※お月見はありません	山手ふれあいセンター (総社市地蔵山147)	Gmail npochoheart2015@gmail.com 
9月9日(土) 10:15 ～ 12:00	・パパ・ママへのメッセージ ・定員30名程度 ・プレパパ・プレママも来てね！ ※お子さんとも一緒に参加できます	なかよし広場 びよこっこ (総社市門田187 天満屋ハピータウン リブ総社店 3F)	なかよし広場 びよこっこ TEL/FAX 0866-31-7686



主 催：NPO法人ほっとはあと
問合せ：総社市地蔵山143-1 ☎0866-93-9834
共 催：NPO法人きよね夢てらす 子育て応援こっこ
※この事業は、総社市市民啓蒙事業により開催します

受講アンケート

受講前後で意識は変わったか？

変わった **98%**

メディア無くしては難しいこともある。



メディア以外の事での工夫を考えたい。

変わらなかった **2%**

もともとメディアには触れさせていなかった。

メディアの視聴時間

○現在メディア視聴2時間以上 **98%**

少しの視聴なら問題ない



時間を短くしよう ノーメディアに取り組む

○現在メディア視聴2時間以下 **2%**

もともと少なかったがもう限界かなー



ノーメディアを継続したいと思う。

ワークショップ

「メディア」との長時間接触による影響について考えるワーク

9月 26日 山手公民館 受講13名

10月 18日 サンワーク 定員12名

11月 10日 きよね夢てらす 定員12名

こどもと遊びについてのワーク

10月 2日 山手公民館 受講11名

10月 25日 サンワーク 定員12名

11月 17日 きよね夢てらす 定員12名



平成29年度 福祉市民提案型事業

子どもの生活と「メディア」 ～何が問題？何が大切？～

参加費等

子どもと「メディア」の問題は小児科をはじめとして、今1番のトピックス
ゲーム・TV・スマホ・ブルーライトの問題など子どもたちの生活や脳に何が起こっているのか
子どもたちの『遊び』の世界について一緒に考えてみませんか？

第1章 講演会・・・各部定員30名程度（託児なし）・・・受付各回の15分前～

日時	対象	場所	講師
9月8日（金） 10:00～11:45	子育て中の親へのメッセージ ※お子さんと一緒に参加できます	山手ふれあいセンター （福祉市地蔵山147）	筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科 人間形成専攻・准教授 講師：原 隆一郎 先生
9月8日（金） 13:30～15:30	子育て支援の方へのメッセージ ※託児はありません	山手ふれあいセンター （福祉市地蔵山147）	題目：子どもの生活と 「メディア」について
9月9日（土） 10:15～12:00	パパ・ママへのメッセージ プレパパ・プレママ来てね！ ※お子さんと一緒に参加できます	なかよし広場びよっこ （福祉市門田187 リブ福祉店3F）	

第2章 ワーク・・・定員 各日12名（託児あり10名程度）・・・受付9時45分～

☆ワークショップ「メディア」との長時間接触による影響について考える ※ティータムあり

	日時	場所	ファシリテーター
①	9月26日（火） 10:00～12:00	山手公民館 託児（山手保健センター内）	市村 みみこ 西 容子
②	10月18日（水） 10:00～12:00	勤労者総合福祉センター 託児（勤労者総合福祉センター内）	岡田 浩美 見持 由美江
③	11月10日（金） 10:00～12:00	きよね夢てらす 託児（きよね夢てらす内）	子育て応援こっこ 田口 亜衣子

※上記日程の内容は同じです

第3章 ワーク・・・定員 各日12名（託児あり10名程度）・・・受付9時45分～

☆ワークショップ「こども」と「遊び」について考える ※ティータムあり

	日時	場所	ファシリテーター
④	10月3日（火） 10:00～12:00	山手公民館 託児（山手保健センター内）	市村 みみこ 西 容子
⑤	10月25日（水） 10:00～12:00	勤労者総合福祉センター 託児（勤労者総合福祉センター内）	岡田 浩美 見持 由美江
⑥	11月17日（金） 10:00～12:00	きよね夢てらす 託児（きよね夢てらす内）	子育て応援こっこ 田口 亜衣子

※上記日程の内容は同じです

第4章 講演会・・・定員30名程度（託児なし）・・・受付各回の15分前～

日時	対象	場所	講師
11月21日（火） 10:00～11:45	子育て中の保護者 ※お子さんと一緒に 参加できます	山手保健センター （福祉市地蔵山143-1）	NPO法人 子どもたちの環境を考えるひこうせん 代表理事：赤迫 康代 先生 題目：遊びで育つ子どもの心 ～子どもが夢中になっている遊びを 観察してみましょう～

「メディア」との長時間接触による影響について考える

- ワークショップ
- 日時：平成29年9月26日（火） 10:00～12:00 参加者13名

メディアが子供に及ぼす影響について



子供たちの視覚に異変が・・・ 浮かび上がって見えますか？





保護者の変容

- アンケート結果
- 受講前と考えがかわったか？
- 変わった85%
- ・ 少なから見せるのは仕方ない
- 変わらなかった15%
- もともとメディアは控えていた。



メディアの時間を減らそう

子どもとあそびについて考えよう

ワークショップ

日時：平成29年 10月3日（火） 10:00～ 12:00 参加者11名

メディアはどんな世界観をあたえているのか？



こんな映像を見た時、ママの声掛けは？



保護者の変容

アンケート結果

受講前と考えがかわったか？

変わった85%

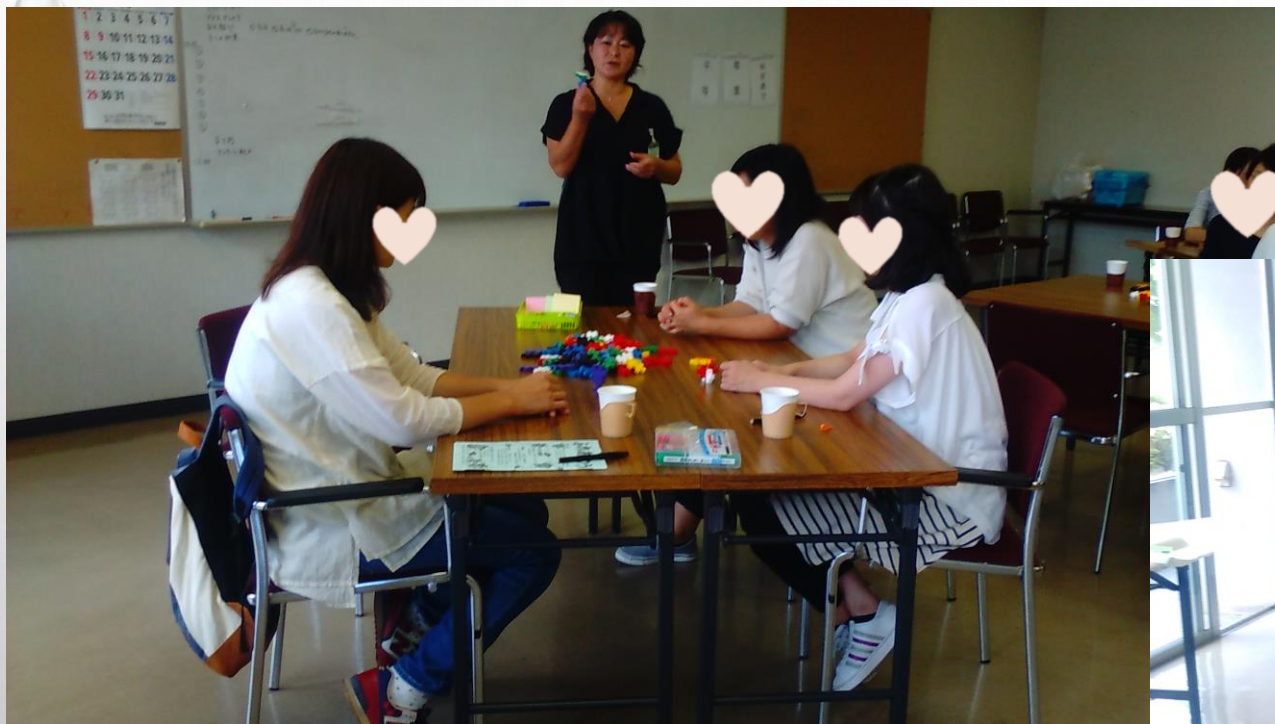
子供向けの番組ならいいだろう



受講前と考えがかわったか？

変らなかった 15%

やっぱりがんばろう



今後の予定

- ワークショップ 2回連続講座 2ワーク
- 11月21日 遊びで育つこどものころ
- 子どもたちの環境を考えるひこうせん
- 赤迫 康代先生 の講演
- 山手保健センター

子供たちの「あそび」についてアプローチしていきたい。

皆さんの 身近な人にも
是非、声掛けをしてください！！

御清聴ありがとうございました。